

【地域・保護者の実態】

- ・自然に恵まれている。
- ・園と地域の結びつきが強く、行事への参加にも非常に協力的である。
- ・新興住宅化が進んでおり、核家族が多い。
- ・少子化に伴い、子どもへの期待が強まる傾向にある。

【教育課題】

- ・興味を持ったことに関わり、夢中になって遊ぶ子の育成。
- ・自分の思いや考えたことを伸び伸びと表現できる子の育成。
- ・様々なことに挑戦する気持ちや、自分の力を発揮する意欲を高めることのできる園生活の工夫。
- ・地域の環境や人材を活かし、地域との連携を充実させる園経営。

【園児の実態】

- ・穏やかで優しい幼児が多い。
- ・人との関わりを素直に喜ぶことができる幼児が多い。
- ・集団の場では、苦手な事や困難を避け、自己発揮できない幼児も多い。
- ・自分の思いを言葉で表現できるが、自信をもって主張できない姿もある。

【園目標】 元気な子 優しい子 頑張る子

【研修のテーマ】

『自分ってすごい！みんなもすごい！友達と心を合わせて頑張れる幼児の育成』

【主題設定の理由】

前年度は、園目標「元気な子 優しい子 頑張る子」の「頑張る子」に着目し、心情面で頑張れる園児の育成を目指して来た。特に、入園児が少数になり、複合教育をしなければならない教育環境となったこともあり、いろいろな人との関わりの中で、育っていくことや覚えていくための環境設定をどうしていくかが大きな課題となっていた。本年は、さらに園児数が減少することを受け、少人数ながらもより上手に人間関係を育み、自己有用感をもって主体的に取り組む、活力ある生き方のできる園児の育成を図りたい。そのために、本園度は複合保育における環境構成の重要性について研修を深め、学年に捉われないことなく、一人一人の興味関心に合わせた環境構成を構築し、異年齢の関りを通じた学びや成長を促していけば、「自他を認め合い」「自信をもって頑張れる」幼児を育成することができると考える。

【具体的な取組み】

遊び・活動

- ・プロジェクト保育（様々な遊びを知る）
- ・リズム運動（時期に応じて全学年合同実施）
- ・話し合いの活用
- ・ボイスシャワー
- ・興味を引き出す環境づくりの工夫
- ・幼児の思いを見える化（ドキュメンテーション）

教師の配慮

- ・十分な時間と場の確保
- ・異年齢児との関わりを意識した広い視野
- ・翌日に繋がる振り返り
- ・行事、生活の見直し（ゆとりある生活時間の確保）
- ・異年齢交流（遊びを通して）
- ・身近な地域交流
- ・基本的生活習慣の確立

一人一人の育ちや興味を支えるため

保護者との連携

- ・対話の充実
- ・ドキュメンテーション
- ・子育て支援
- ・家庭での温もりづくり
- ・ボイスシャワー

職員間の連携

- ・対話の充実
- ・振り返り研修（個の興味・成長を見取り、共有する）
- ・記録の工夫、共有（妥当性・信頼性を高める）

専門機関との連携

- ・支援方法についての相談
- ・公開保育
- ・幼小中一貫教育（袋井あやぐも学園）